

茶道部「交流茶会」に参加

中高生おもてなし 表千家斐太青年部 高山市で交流茶会



学んできた礼儀作法を実践し、一服を堪能する生徒たち
＝高山市神明町、市文化伝承館

茶道の表千家斐太青年部が、飛騨地域で茶道を習う中高生をおもてなしする「交流茶会」を、高山市神明町の市文化伝承館で開いた。

部活動で作法などを学ぶ生徒に、稽古の成果を発揮する場を設けようと、同青年部が2015年に始めた。高山市の斐太高校、飛騨高山高校、下呂市の小坂中学校の茶道部などの生徒計約40人が参加した。

生徒たちは少し緊張しながらも、これまでに学んできた礼儀作法を実践し、お菓子と一服を味わった。道具も見せてもらうなど、楽しみながら茶道への関心を深めた。

飛騨高山高校3年の坂上菜月さんは「緊張で手が震えて最初はうまくお菓子が取れなかったけど、一連の流れを体験させてもらうことができて、新鮮で楽しかった」と話していた。

(玉田健太)